

平成 21 年度・平成 22 年度
～ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業実施団体
好事例集～
【②社団法人日本機械土工協会（機械土工）】

○モデル事業導入にあたって

機械土工工事業界は、「建設業」のなかでも、土砂、岩石を、主として建設機械で掘削、積込み、運搬、締固め等の作業を行い、「土」構造物を築造するという、土砂を相手とする職種なため「3K 職場」の典型とみられており、新規学卒者が入職せず、入職しても定着しないという状況が続いております。

このような状況の中、座学（Off-JT）と実習（OJT）とを組み合わせ、現場の戦力となる人材を育成する「実践型人材養成システム」を普及・定着させて、業界の将来を担う人材育成のため、きめ細かい指導・教育を実施していくことといたしました。

○企業におけるメリット

- ・ 人材確保・育成に積極的な企業として、企業イメージアップに繋がります。
- ・ 体系だった育成プログラムにより実践的な人材養成、資格取得ができます。
- ・ 3コースある訓練カリキュラムから教育訓練カリキュラムを選択できるため、各企業のニーズに合った人材を育成することができます。
- ・ 助成金等の公的支援を活用できることにより、人材育成に係る経済的な負担を軽減することができます。

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・ Off-JT での知識、技能、資格の取得等により、受講生の業務に対する不安を払拭させることができました。
- ・ 上記により、訓練生の定着率が高まりました。
- ・ 資格を取得した訓練生は、業務の遂行に大きな武器となり戦力となりました。
- ・ Off-JT での団体生活の経験は、現場での宿舍生活に順応するために役立ちました。
- ・ 訓練指導員自身が自分自身を見つめ直す機会となり、訓練指導に対する意識向上が図れました。

○これから取り組む企業の方へ

「企業は人なり」という言葉が示すとおり、生産を上げて企業を活性化させるためには、社員の研修が最も必要です。有能な社員の育成が、企業の発展につながります。社員を研修してそのレベルを高揚し、企業が次第に発展に向かうようにすることが必要です。毎年、社員個々の段階に応じた研修を行って、社員をいくらかずつでも成長させることを継続すれば、その企業は次第に発展するに違いありません。社員の成長が、いつの間にか企業の発展に貢献いたします。

企業にとっては、社員の研修が一番であり、総てです。